

平成26年  
第1号  
通巻23号

# Soft Ball

発行者・編集者  
さいたま市ソフトボール協会  
市ソ協会長 和田 隆雄  
広報委員長 田口 秀夫

## 平成25年度評議員会開催

### 評 議 員 会

#### 一 創立10周年記念誌完成 20周年への第一歩 一

平成26年2月22日「さいたま共済会館」において、市ソ協の平成25年度評議員会が123名の出席者のもと開催された。

和田隆雄会長は「昨年末に念願の『10周年記念誌』が出来上がりました。編纂にあたって取りまとめをお願いした永田副会長と、編集の実務を担当した榎本副理事長はじめ編集委員の皆様にはこの場をお借りして御礼申し上げます。

「チームと選手が主役」との編集方針から、これまでのチーム成績、個人記録を中心に取りまとめられています。

難産の末に平成15年の協会発足以来、今年で12シーズン目を無事迎えることができ、今では旧4市が、すっかり一つにまとまったことは嬉しい限りです。役員への献身的なご尽力と会員各位のご協力に對しまして厚く御礼申し上げます。今後ともソフトボールの振興と本協会の発展のために微力を尽くして参ります。」と挨拶で述べられた。

清水勇人市長からは「平成25年度評議員会の開催をお喜び申し上げ、実り多き充実したものとなることを期待します。貴協会の更なる御発展をお祈りいたします。」とのメッセージをいただいた。

来賓の田中一弘顧問は「裁判で始まった苦難の道、全役員・全会員の協力と努力の結果、全国有数の素晴らしい協会になりました。本日はおめでとうございませう」とのお言葉があった。同じく来賓の(株)ルイスビルスラッガー・ジャパンの生原亨様より「本日の評議員会が盛大に開かれたことをお祝い申し上げ、皆様の健勝とご多幸をお祈り致します」との祝辞。当協会参与の鈴木彰様、(株)ルイスビルスラッガー・ジャパン板屋莉奈様、(株)アシックス神保秀樹様を来賓紹介の後、規約により和田会長が議長に選出され議事に入った。

#### (1)平成25年度事業報告について ・・・白島副会長

市大会、県大会等912試合を実施。台風・降雨による順延・グラウンド変更が多々あったが無事終了した。皆様のご協力に感謝します。



〔白島一芳副会長〕

(2)平成25年度決算報告について・・・石渡副理事長  
収入832万円、支出815万円、残額17万円。  
収入は、男子三部・シニア・小学生の参加費が減少、市体育協会からの補助金の減額により収入は予算比10万円の減となった。

支出は、役員への適正配置(効率化)等により、事業費は予算比31万円の減、事務費の減少は全国・関東大会出場チームの減少が要因で同19万円の減となったが、予算にはなかった積立金に30万円を計上した。

続いて「設立15周年記念積立金」の決算報告(残額87万円)が行われた。

25年度会計監査報告について・・・石黒監事  
監査の結果、適正であると報告があった。

※ 事業報告・決算報告が満場一致で承認された。

#### (3)平成26年度事業計画について・・・白島副会長

事業計画の内容は資料をご覧ください。これらの大会を消化するため、行政にグラウンド不足の解消を訴えている。

#### (4)平成26年度予算について・・・榎本副理事長

予算総額827万円を計上。チーム数、審判員、記録員の減少、市体協からの補助金の減額、宝来グラウンドの外野フェンス設置等に予算を計上したこと等、厳しい状況だが



〔平成26年度予算、平成26・27年度役員について説明する榎本副理事長〕

12年連続の黒字決算を続けたいと提案された。  
※平成26年度事業計画・予算についても、満場の拍手で承認された。

#### (5)平成26・27年度役員について・・・榎本副理事長

和田隆雄会長を推挙し、理事会で承認された新任及び退任された役員名を報告した。詳細については別項の役員名簿をご参照ください



新任の副理事長(兼務役職名)、写真左より  
真嶋久美子(事務局長)・山内 渉(審判委員長)  
小笠原新政(競技委員長)・赤川清一(男子委員長)

(6)報告事項

- 1) 協会規約・細則一部改正・・・河村副理事長
  - ①ハイシニアの年間登録料 7,000円、一大会参加料 6,000円に増額。
  - ②評議員会に出席を委託されたチームが欠席された場合警告書を発行される。
- 2) 平成25年度 最優秀選手・団体表彰・・・和田会長副賞授与・(株)ビスビルスラッガー・ジャパン 生原営業部長 表彰選手名は別項をご参照ください
- 3) 祝電披露  
平成25年度評議員会の開催を祝し、貴協会の益々のご発展と皆様のご健勝、ご活躍をご祈念申し上げます。ナガセケンコー(株) 社長 長瀬泰彦様



優秀団体表彰「関東中学生大会」  
準優勝の春里中学校・中山香穂選手

4) その他として新規規格バットについて(株)ビスビルスラッガー・ジャパン 板屋様より、革ボールの試合に使用しているバットの改善についての説明があった。  
最後に、永田喜雄副会長から閉会のことばがあり、平成25年度評議員会が無事終了した。

シルバーウイングの醍醐選手が「レディースチームの枠を超えて、50歳以上の女性がソフトボールを楽しんでいます。関東大会での優勝は『運も実力のうち』でしょうか?」。また、県大会で完全試合を達成、優勝投手となった浦和SGの佐藤和昭投手は「私は『集中』が命です。バックを信じて自分のソフトボール、集中力で投げています」とそれぞれリアルに経験談を披露した。



三本締めは眞嶋副理事長

テーブル毎に和やかな立食の宴も名残惜しい時間になり、新任では紅一点の眞嶋副理事長が「10周年記念誌のごとく、ひとつの節目が終わり、新たに26年27年度が始まります。皆様の暖かい協力をお願いします。それでは、お手を拝借」と満場丸々の三本締めを行った。

最後に、白島副会長が「市ソ協の益々の発展を祈念し、万歳三唱で閉会とします」と会場が割れんばかりの唱和、拍手喝采で閉会した。

平成25年度市民体育大会最優秀選手名簿

種別名	所属チーム名	授賞者名
一般男子1部	土合小PTAソフトボール	竹俣 唯人
一般男子2部	デ・カ ン タ	小黒 源晃
一般男子3部	三橋三丁目S・B・C	村松 篤
壮年の部	OMIYA CLUB[40']	内田 和彦
実年の部	さいたまクラブ	関 秀也
シニアの部	浦 和 S G	本多 道雄
ハイシニアの部	浦 和 S G	斉藤 一郎
レディースの部	大 宮 ク ラ ブ	神田 あづさ
会長旗(高校生)	伊奈学園総合高等学校	長島 三奈
会長旗(中学生)	さいたま市立尾間木中学校	大内 滯
小学生男子の部	太陽フェニックス	山内 和輝
小学生女子の部	沼影ソフトボール少年団	緑川 愛未

懇 親 会

評議員会に引き続き、記録的大雪による農業被害、集落の孤立、車の立往生など暗いニュースと、ソチ五輪における日本選手の活躍という明るいニュース半々のなか、100余名の参加を頂いて懇親会が同会館で開催された。

朝霞市で行われた県内の有望中学生の技術指導を終了し、急いで駆けつけた浅見理事長が『さいたま市内の中学生を全国レベルに引き上げましょう。皆様の力を貸してください!』と開会の挨拶。(株)アシックスの神保秀樹様から「10周年、皆様の力の結集おめでとうございます。横のつながりを強くもち、さらに20周年、30周年へと頑張ってください。」と力強いエール、そして乾杯の発声を頂いた。

ソフトボール談義、熱気の語らい、懇親交流の合間に昨年活躍した選手のコメントが発表された。



懇親会に参加の評議員・役員・最優秀選手の皆さん  
写真左から4人目が完全試合を達成された佐藤和昭投手

【チーム特別表彰】

- シルバーウイング (関東エルデスト大会優勝)
- さいたま市立春里中学校 (関東中学生大会準優勝)
- 浦和SG (県ハイシニア大会・県民総体シニア優勝)
- 太陽フェニックス (全日本小学生大会・春季小学生大会の県予選で優勝し、全国の2大会に出場)
- 指扇ライオンズ女子 (春季小学生県大会・県民総体小学生女子大会で優勝) 以上5団体

【個人特別表彰】

- 佐藤和昭 (浦和SG投手・県大会で完全試合達成)

# 平成25年度市民体育大会結果

【一般男子1部】 [24チーム]  
12月8日 荒川総合運動公園 F面

土合小PTAソフト	0 2 1 1 0 1	5
別所クラブ	0 0 1 0 0 0	1

(土合小) 古指 智一 竹俣唯人  
(別所ク) 宍戸貴久一 石川陽介  
(三塁打) 森本陽亮 [土合]  
(二塁打) 竹俣唯人 [土合]  
(MVP) 竹俣唯人 [土合]  
(審判員) (球) 田口正光 (一) 樋口博司  
(二) 石井 正 (三) 森 照寿  
(記録員) 杉本長治 (戦評) 本間幸次  
(広報員) 田口秀夫

## 土合小PTA、春秋連覇 秋は4年ぶり2度目の優勝!!

土合小、2回一死より敵失を挟み3安打で2点を先制、3回竹俣(唯)の二塁打を足掛かりに暴投で1点追加、6回藤原の内野安打を森本の三塁打でダメ押しの1点で突き放した。

別所、3回二死から四球と2連続失策・盗塁で1点取ったが土合・古指投手に6安打を浴びせるも得点につながらず惜敗。



【4度目の優勝・土合小PTAソフト】

### 波村章監督談話

◎チームの皆さんに4回目の優勝という73歳のバースディプレゼントを戴きました。生涯忘れません。ありがとう!!。



【準優勝の別所クラブ】

### 【準決勝戦結果】

- 土合小PTA 7対0 新曲輪クレインズ
- 別所クラブ 4対2 FSCバーボンズ

【一般男子2部】 [48チーム]  
12月8日 荒川総合運動公園 D面

東浦和ソフト同好会	1 7 1 0	9
デ・カンタ	5 0 0 5x	10

(東浦和) 水嶋浩大・池上英夫一 伊藤佳孝  
(デ・カ) 翁長明菜・小黒源晃一  
木野内則幸・並木泰治  
(二塁打) 森田直和・川嶋義浩 [東浦和]  
木野内則幸 [デ・カ]  
(MVP) 小黒源晃 [デ・カ]  
(審判員) (球) 岡田 貢 (一) 丸田 豊  
(二) 川村勝夫 (三) 玉谷隆次  
(記録員) 野中新介 (戦評) 本間幸次  
(広報員) 友光節夫

## デ・カンタ、逆転サヨナラで 2部初優勝!!

デ・カンタ、1回4四死球と木野内の二塁打で5点を取り逆転、再逆転され4点を追う4回5四死球と小黒の三遊間安打で同点とし二死満塁から押し出しの死球でサヨナラ。

東浦和、初回二死二塁・一塁から森田の三遊間安打と川嶋の二塁打と敵失を挟み連打で7点を取り再逆転、3回一死二塁から川嶋の安打で1点を追加し優勝を目の前に引き寄せたが勝利の女神は微笑まなかった。



【初優勝のデ・カンタ】

### 宮原芳夫監督談話

◎相手の投手も乱れていたがボールを見極め選んだ。我がチームは皆良く頑張った。



【準優勝の東浦和ソフト同好会】

### 【準決勝戦結果】

- デ・カンタ 5対2 辻小PTAソフトA
- 東浦和ソフト同好会 9対2 蓮沼ファイブ

【一般男子3部】 [50チーム]  
12月8日 荒川総合運動公園 F面

与野ファイターズ	0 0 0 0 0	0
三橋三丁目S・B・C	0 6 0 1 x	7

(与野フ) 都築祥二・河島真理子一 渡辺好造  
(三橋三) 村松 篤一 三谷保博  
(二塁打) 平野勝俊・三谷保博 [三橋三]  
(MVP) 村松 篤 [三橋三]  
(審判員) (球) 吉村大菊 (一) 三田明夫  
(二) 大野相善 (三) 栗原敏夫  
(記録員・戦評) 本間幸次  
(広報員) 田口秀夫・斉藤 豊

## 三橋三丁目・松村投手 好投で初優勝!!

三橋三丁目、2回三谷の二塁打を含む5連打と平野のため押し出しの二塁打で6点先制、4回一死三塁から原の一塁左を抜く安打で1点を追加しコールド勝ち、村松投手3回まで四球・死球のみ、4回遊撃内野安打を打たれたが後続を断ち切った。

与野ファイターズ、1・3・4回と出塁するも好投手村松の前に完封を喫した。



【初優勝の三橋三丁目S・B・C】

### 三谷保博監督談話

◎会長が講評で褒めていただいた通り、うちのチームは明るさ・元気がNO1です。悲願の優勝も出来ました。永い変わらぬ仲間たちと持ち味のパワーアップをして、生涯ソフトボールを楽しみます。



【準優勝の与野ファイターズ】

### 【準決勝戦結果】

- 与野ファイターズ 11対5 大宮日進ソフトボール
- 三橋三丁目SBC 13対3 中川自治会ソフト

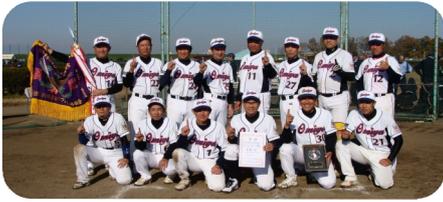
【壮年の部】 [21チーム]

12月1日 荒川総合運動公園 F面

高砂小PTAソフト	0 0 0 0 0	0
OMIYA CLUB[40']	2 0 4 2 x	8

(高砂小) 森 一郎-武政博之  
 (OMI) 内田和彦-細村勝城  
 (本塁打) 内田和彦・五十嵐広樹 [OMIYA]  
 (二塁打) 松下幸一・五十嵐広樹 [OMIYA]  
 (MVP) 内田和彦[OMIYA CLUB]  
 (審判員) (球) 岡田 貢 (一) 波村 章  
 (二) 重盛 浩 (三) 信田正行  
 (記録員・戦評) 本間幸次  
 (広報員) 田口秀夫・斉藤 豊

OMIYA CLUB[40']  
4年振り4度目の優勝!!!



【壮年の部優勝・OMIYA CLUB[40']】

OMIYA、1回内田の2ラン、3回には二死二塁から金子の右前打・五十嵐の2ラン松下の二塁打で計4点、4回二死三・二塁から金子の三遊間安打で2点を取りコールドゲーム。



【優勝バッテリーと別格の投球内田投手】

高砂小はOMIYA CLUB・内田投手の前に三振12、内野ゴロ3、三振振り逃げの1個の出塁と、5回参考ながら無安打無得点(ノーヒットノーラン)試合を喫した。尚両チームとも無失策試合。

村田秀司監督談話

◎活気のある対戦相手であったので、一年間チームが取り組んできた事を表現出来た試合となりました。



【準優勝の高砂小PTAソフト】

【準決勝戦結果】

- OMIYA CLUB[40'] 7-0 マツハシ49ers
- 高砂小PTAソフト 11-10 URAWA. S. B. C

【実年の部】 [22チーム]

11月24日 北部工業団地記念公園 C面

さいたまクラブ	5 0 0 0 1 0	6
辻小PTAソフト同好会	0 1 0 0 2 0	3

(さいく) 及川昭三-高橋一弘  
 (辻小P) 足立宏文・星子一夫-井出和政  
 (本塁打) 関 秀也[さい]足立宏文[辻小]  
 (MVP) 関 秀也[さいたまクラブ]  
 (審判員) (球) 田中昌幸 (一) 森 照寿  
 (二) 小崎健次郎 (三) 岡田貢  
 (記録員) 島寄恒夫 (戦評) 本間幸次  
 (広報員) 松本文夫

さいたまクラブ3連覇  
春秋通し5連続優勝!!!

さいたまクラブ、初回先頭打者金森がセンター前ヒット、山崎が送り一死二塁、失策により1点、本多の三遊間突破安打、四球を挟み高橋の犠牲フライで2点目、関のスリーランホームランでこの回5点、2・4回と塁に出るも得点に結びつかず、5回無死一塁から本多・磯山・高橋の3連打でだめ押しの1点、及川投手8安打と打ち込まれるも3点に抑え逃げ切った。

辻小は2回足立のソロホームランで1点、5回代打の石垣が四球を選び高橋・水落の2連打と2四死球で2点と迫るも届かず惜敗した。

及川昭三監督談話

◎とにかく今日は良く打ってくれました。



【5連続優勝のさいたまクラブ】



【準優勝の辻小PTAソフト同好会】

【準決勝戦結果】

- 辻小ソフト同好会 8-0 大東ソフト同好会
- さいたまクラブ 11-1 シャトルスターズ

【シニアの部】 [22チーム]

11月24日 北部工業団地記念公園 C面

浦和SG	5 6 0 2	13
三橋一丁目ソフト部	0 0 0 0	0

(浦和S) 佐藤和昭・大山昭治-小林 薫  
 (三橋一) 今野純一-金子 勲  
 (本塁打) 稲垣忠男[浦和]  
 (三塁打) 稲垣忠男・朝比奈功一[浦和]  
 (MVP) 本多道雄[浦和SG]  
 (審判員) (球) 中村 登 (一) 中川 勉  
 (二) 重盛 浩 (三) 吉村大菊  
 (記録員) 野中新介 (戦評) 本間幸次  
 (広報員) 匠 博隆

浦和SG・他を寄せ付けず  
春秋通算59連勝!!!

浦和SG、初回無死三塁・二塁から稲垣の三塁打で2点、2度の連打で計5点、2回朝比奈の三塁打を足がかりに6連打で6点追加、4回二死三塁から稲垣の本塁打で2点を取り突き放した。

三橋一丁目は、浦和SG佐藤・大山投手の前に6安打するも得点を奪うことが出来ず完敗。

新野一男監督談話

◎一年の締めくくりとして良い試合が出来ました。又、練習の成果ができました



【通算16回目優勝の浦和SG】



【賞状・優勝旗・盾・副賞の授与式】



【準優勝の三橋一丁目ソフト部】

【準決勝戦結果】

- 浦和SG 8-0 浦和南シニア
- 三橋一丁目ソフト部 15-2 FSCトッカーズ

**【ハイシニアの部】** [8チーム]

11月24日 北部工業団地記念公園 A面

浦和 S G	1 3 2 0 0 3	9
大宮レインボーズ	0 1 0 0 5 0	6

(浦和S) 川口明朗ー小林 薫  
 (大宮レ) 小林卷嗣ー浅野 明  
 (本塁打) 朝比奈功一・平田正博 [浦和]  
 (三塁打) 碓田修三 [大宮]  
 (二塁打) 田沼 斉 [大宮]  
 (MVP) 斎藤一郎 [浦和SG]  
 (審判員) (球) 信田正行 (一) 片山 茂  
 (二) 波村 章 (三) 川村勝夫  
 (記録員) 杉本長治 (戦評) 本間幸次  
 (広報員) 斎藤 豊

**打撃に勝る浦和SG  
春・秋連覇！！！！**

浦和SG、初回朝比奈の先頭打者本塁打で1点先制、2回小林の二塁打と4連打により3点、3回二死三塁から平田の本塁打で2点、6回川口・斎藤の中前打と敵失により3点を取り突き放した。

大宮レインボーズは2回田沼の二塁打にライトゴロの間に1点、5回一死より連続死球、浅野・江森の安打に碓田の三塁打で一挙5点を取るも届かず。



【春・秋優勝の浦和SG】

**新野一男監督談話**

◎日頃の練習の成果を十分に発揮することが出来ました。全員の勝利です。



【準優勝の大宮レインボーズ】

**【ハイシニア・リーグ戦結果】**

**[Aブロック]**

- 大宮レインボーズ 4-1 東浦和ハイニア
- FSCビッカーズ 8-1 原山小PTAソフト
- 東浦和ハイニア 12-5 原山小PTAソフト
- ◎大宮レインボーズ 12-5 FSCビッカーズ

**[Bブロック]**

- さいたま65 9-1 ハイスターズ七里
- 浦和SG 16-0 城北ゲンキーズ
- ハイスターズ七里 7-3 城北ゲンキーズ
- ◎浦和SG 6-0 さいたま65

\*A・Bブロックで勝ち上がり決勝へ

**【レディースの部】** [11チーム]

11月24日 北部工業団地記念公園 A面

大宮クラブ	0 0 0 0 0 0 1	1
与野レンジャーズ	0 0 0 0 0 0 0	0

(大宮ク) 神田あづさー長堀久美  
 (与野レ) 翁長明菜ー松本 瞳  
 (MVP) 神田あづさ [大宮クラブ]  
 (審判員) (球) 棚沢敬治 (一) 川村勝夫  
 (二) 信田正行 (三) 栗原敏夫  
 (記録員・戦評) 本間幸次  
 (広報員) 眞嶋久美子・匠 博隆

**緊迫した投手戦を制し大宮クラブ  
春秋を通し10度目の優勝！！！！**



【春・秋連覇の大宮クラブ】

大宮クラブ・神田投手、与野レンジャーズ・翁長投手どちらも譲らず6回まで無得点、7回からタイブレークに入り、大宮は二死三・二塁から鶴岡の三遊間安打で貴重な1点を先制。

与野レンジャーズは強行策で二塁走者を還すことが出来ず完封された。

**小関千代吉監督代行談話**

◎春・秋連覇出来て良かった、選手が良く頑張ってくれました。



優勝の『大宮クラブ』表彰式



【準優勝の与野レンジャーズ】

**【高校生女子の部】** [16チーム]

**第7回さいたま市ソフトボール協会会長旗争奪高校生大会**

11月23・24日 荒川総合運動公園  
 3年振りに6ブロックに分かれリーグ戦を行い、1・2位チームによるトーナメント戦と研修リーグを実施した。

【1部】(I位トーナメント)  
 優勝：伊奈学園総合高等学校  
 準優勝：浦和東高等学校  
 第3位：川口総合高等学校  
 大宮東高等学校

【2部】(II位トーナメント)  
 優勝：浦和南高等学校  
 準優勝：川口北高等学校  
 第3位：浦和北高等学校  
 大宮光陵高等学校

【3部】(研修リーグ)  
 優勝：大宮西高等学校



【会長旗優勝の伊奈学園総合高校】

**【中学生女子の部】** [34チーム]

**さいたま市中学校新人体育大会**

9月28日～10月4日まで荒川総合運動公園で開催され、大谷場中学が初優勝し3位までの下記4校が県大会に出場した。

**【準決勝戦結果】**

大谷場中学校 12-7 八王子中学校  
 土屋中学校 8-7 尾間木中学校

**【決勝戦結果】**

土屋中学校	3 0 0 0 0 0 2	5
大谷場中学校	0 0 0 0 2 3 1x	6

**25年度さいたま市冬季大会**

26年3月16日 荒川総合運動公園 D面

大谷場中学校	1 0 1 1 7	10
大原中学校	1 0 0 1 1	3

(大谷場) 村田 比呂一鈴木彩由美  
 (大原) 村井菜奈海一飯島 裕奈  
 (本塁打) 飯島 裕奈 [大原]  
 (三塁打) 木暮 沙希 [大谷場]  
 (MVP) 鈴木彩由美 [大谷場]



【冬季大会初優勝の大谷場中学校】

【小学生男子の部】 [14チーム]

11月30日 荒川総合運動公園 F面

日進ドリームズ	0 0 0 0 0 0	0
太陽フェニックス	0 0 1 0 0 x	1

(日進ド) 齋藤稜真-藤田幸大  
 (太陽フ) 山内惟久夏-伊藤 亮  
 (本塁打) 山内和輝 [太陽]  
 (二塁打) 萩原裕章 [日進]  
 (MVP) 山内和輝[太陽フェニックス]  
 (審判員) (球) 川村勝夫 (一) 浅野庄吾  
 (二) 木越規行 (三) 半澤武夫  
 (記録員) 野中新介 (戦評) 本間幸次  
 (広報員) 匠 博隆

**太陽山内の一発で試合を決めた、秋7連覇・春秋11回目の優勝!!**

太陽フェニックスは2回一死三・二塁のチャンスを生かせず、3回山内のソロホームランで均衡を破り、4・5回もチャンスがあるが生かせず1点を守り切った。

日進ドリームズは、2回萩原の二塁打も生かせず、太陽を上回る6安打を打つも太陽・山内投手の前に完封を喫した。



【11度目の優勝・太陽フェニックス】

山内浩蔵監督談話

◎春のリベンジが出来てうれしい、厳しい試合でしたが、6年生が頑張り、市民体育大会7連覇が出来ました。



太陽バッテリ



【準優勝・日進ドリームズ】

【準決勝戦結果】

- 太陽フェニックス 4 - 0 赤羽根スポーツ少年団
- 日進ドリームズ 6 - 3 大宮西WEST男子

【小学生女子の部】 [3チーム]

**優勝 沼影ソフトボール少年団**

小学生女子の部は参加が3チームなのでリーグ戦のみ実施し1勝1分けの沼影ソフトボール少年団が優勝した。

【最終結果】

優勝 沼影ソフトボール少年団 (1勝1分)  
 準優勝 指扇ライオンズ女子 (1勝1敗)  
 第3位 常盤スポーツ少年団 (1敗1分)  
 (MVP) 緑川愛未 [沼影ソフトボール]



【優勝・沼影ソフトボール少年団】

細渕一男監督談話

◎みんな良く頑張ってくれたと思います。特に唯一の6年生の緑川キャプテンが活躍してくれました。

11月4日 北部工業団地記念公園 C面

【第1試合】指扇ライオンズ女子 1勝

常盤スポーツ少年団	0 0 1 0	1
指扇ライオンズ女子	0 2 4 5x	11

(常盤) 姫島 響・新居葉月-沼田莉果  
 (指扇) 鈴木梨菜-上平沙加  
 (三塁打) 谷口透子 [指扇]  
 (二塁打) 上平沙加・橋崎芽依奈  
 宮崎茜音・岡田 彩以上[指扇]  
 (審判員) (球) 中澤明男 (一) 染谷和良  
 (二) 広瀬文彦 (三) 山本一美  
 (記録員・戦評) 本間幸次  
 (広報員) 松本文夫

**打撃に勝る指扇、先ずは1勝!!**

指扇ライオンズ、2回一死より2連打を岡田の二塁打で2点先制、3回一死より2四球を橋崎の二塁打、宮崎・的場の連打で4点、4回谷口の三塁打・上平の二塁打と四死球で5点を取りコールド勝ち。

常盤スポーツ、3回一死より四球と内野安打で1点を取るも指扇・鈴木投手の前に2安打に押さえられた。

【第2試合】沼影ソフトボール少年団 1勝

指扇ライオンズ女子	1 0 0 2 0 1	4
沼影ソフトボール少年団	0 0 0 3 0 3x	6

(指扇) 大石和佳奈-上平沙加  
 (沼影) 中村 恵-緑川愛未  
 (本塁打) 緑川愛未 [沼] 的場愛弓 [指]  
 (二塁打) 小萩優香・中村 恵 [沼影]  
 (審判員) (球) 染谷和良 (一) 中澤明男  
 (二) 姫島英樹 (三) 脇山竜二  
 (記録員) 杉本長治 (戦評) 本間幸次  
 (広報員) 松本文夫

**沼影ソフトボール、逆転勝利!!**

沼影ソフトボール、1点を追う6回一死より中村の二塁打、伊藤の四球、緑川の3点本塁打で逆転勝利。

指扇ライオンズ、初回2つの敵失で1点先制、4回一死一塁からの的場の2点本塁打、6回3連打で1点と優位に試合を進めるも逆転を許してしまった。

【第3試合】常盤スポ・沼影ソフト 引分

常盤スポーツ少年団	1 0 1 1 2	5
沼影ソフトボール少年団	2 0 0 2 1	5

(常盤) 姫島 響-沼田莉果  
 (沼影) 小萩優香-緑川愛未  
 (本塁打) 緑川愛未 [沼影]  
 (二塁打) 新居葉月 [常盤]  
 (審判員) (球) 半澤武夫 (一) 泉 裕介  
 (二) 上平晃士 (三) 杉山賢哉  
 (記録員・戦評) 本間幸次  
 (広報員) 松本文夫

**シーズンゲームを決めて無く引分**

常盤スポーツ、1点を追う5回3安打で2点を取り逆転で試合が決まったかに見えなかに思えたが、沼影 緑川の本塁打で追いつき同点とし引分。



【準優勝・指扇ライオンズ女子】

**関東大会で『シルバーウイング』神奈川県代表と同時優勝!**

平成25年10月19・20日 春日部市で開催された関東エルゲストソフトボール大会に出場しました。当日、地元(埼玉)開催なので選手宣誓を依頼されました。急なことでしたが小池主将のユーモアのある宣誓で会場が和やかになりました。相手は第一試合の勝者で「TOKYO B・G」となりました。試合は3回の表に1点先取したものの、5回迄はシーズンゲーム、6回に打線が爆発、両瀬さんのレフト前ヒットから始まり、打者8人で6点、最終結果は8対4で決勝進出となりました。対戦相手は前回と同じ神奈川県代表です。

2日目は朝から怪しい空模様で、ベンチ入した途端土砂降りの雨で中止。2チームが優勝となりましたが、優勝旗は遠来の神奈川さんへ……(残念!)。次回こそ勝って大優勝旗を持ち帰りたいものです!!

なお、エルゲスト大会には50歳以上の人に参加資格がありますので、オールさいたま市で「シルバーウイング」を結成し、円熟のソフトボールを楽しんでいます。読者の皆さん、当チームに入って他市・他県の愛好者と交流しませんか? チーム員参加募集中です。(048-686-1122)

シルバーウイング監督 大塚妙子

**リレー各専門委員会訪問  
[放送委員会]**

放送委員会は、平成24年度より広報委員会より分離し、市ソ協・中央支部の各式典、表彰式等の司会、特に県ソ協放送委員会（県東3名、県西4名、県南12名、県北4名、中央4名）の一員として県大会以上の試合放送を引き受けています。



[左より黒田委員長・小穴・三枝放送委員]

試合放送は、黒田賢子県ソ協放送委員長を中心に、所定のマニュアル（平成23年4月改訂「試合放送」県ソ協放送委員会版）に基づいて研修を行い、ルールの勉強、審判員・記録員との協調を図りながら試合の放送を行っています。平成25年度はさいたま市で4大会の試合放送を行いました。

試合放送の内容は、①試合前の準備（対戦カードの紹介、打順表の提出、フィールドイングの指示、選手と審判員・記録員・放送員の紹介、最終確認のための監督への案内、試合前の選手の集合準備案内等）。②試合進行中（選手の守備位置案内、選手交代[守備者・打者・走者・再出場等]の案内、得点状況等）の内容がマニュアルで細かく指導されており、市ソ協の放送委員会もこれに沿って研修しています。

基本的に放送人員は1面に2名（2名×面数+責任者）で担当し、埼玉県内で活動中です。各支部、各市町村協会には放送委員の養成、増員をお願いしています。（黒田県ソ協放送委員長談）

また、市ソ協放送委員会山崎善樹委員長は「県大会以上の試合放送なので、専門知識、放送技術、ルール等を研鑽しなくてはならないのですが、試合放送の機会が少なく、スムーズに放送ができるまでにはまだまだ時間が掛ります。三枝佳子副委員長・小穴輝子委員の活躍を暖かく見守ってください」と語っていました。

**◇◇チーム・人物紹介(13)◇◇**

『高砂小PTAソフトボール同好会』  
監督(一般・壮年) 肥沼信行

我がチームは、昭和38年PTA球技大会をきっかけに結成され、近隣小学校のPTAチームが集まった大会などに参加、昭和43年チーム名が現在の『高砂小PTAソフトボール同好会』となり、昭和50年からは、「浦和市ソフトボール連盟」のPTA部会、青年部会が一つにまとまった市の大会にも参加し、先輩方々が輝かしい成績を残したとチーム最年長の鈴木和夫会長から聞いております。また、平成15年からは、現在のさいたま市ソフトボール協会に加盟し、春季大会や市民体育大会に参加させていただいておりますが、昨年お陰様で創部50周年

を迎えることができました。これもひとえに、協会や各チームなど皆様方の支えがあったからと深く感謝しております。

チームが結成された翌年生まれの私は、高砂小学校の卒業生ですが、毎年開催されるPTA球技大会に保護者として参加したところ、私のプレーがお手伝いをしていた強面のオジサン達の目に留まりスカウトされたのがきっかけで、平成11年入会しました。当初から、プレーヤーとして楽しむことだけを考えていましたので、今こうして歴史と伝統あるチームの監督を2年半以上も務めているとは全く想像できないことではあります。

現在のチーム構成は、20歳代1名、30歳代1名、40歳代12名、50歳代10名、60歳代5名の合計29名ですが、そのうち第3種公認審判員の資格を持つ者が7名、第3種公式記録員の資格を持つ者が1名おり、また、さいたま市ソフトボール協会主催の大会には、「一般」「壮年」「実年」の各部にエントリーさせていただき参加しております。

ユニフォームは、前述のとおり、昨年、創部50周年を迎えたことで、同じく歴史と伝統あるヤンキースと同じモデルに変更(4モデル目)するとともに背番号の見直しを行いました。各自がその重みを感じプレーしていることと思います。



練習する環境はとても恵まれており、毎週日曜日、高砂小学校の校庭を一定の時間使用することができ、ほぼ半数以上のメンバーが参加し、気持ち良い汗を流しております。チーム内には目立つ大砲はおりませんので、本橋、森両投手を中心とした守備力とバント、バスター、ヒットエンドラン等小技の攻撃力に磨きをかけ、チーム力のレベルアップを図る実践練習が主体となっております。

その表れとしまして、壮年の部において、平成24年は春秋連続優勝し、念願の県民総体への出場(中央ローハスに敗れ1回戦敗退)、また、平成25年には春秋連続準優勝し、朝霞市で行われた県民総体への出場(SCちちぶに勝ち、秩父クラブに敗れ2回戦敗退)を果たすといった結果が得られたことでチームの士気も上がり、毎週美味しいお酒をいただいております。

これまで我がチームは、さいたま市の中で歴史と伝統あるチームとして注目されてきたと思いますが、更に実力が備わったチームとして、これまで以上に注目されると思います。監督として今後とも各試合に臨むに当たっては、結果がどうあれ、一人一人が、「基本に忠実」「フォアザチーム」「ネバーギブアップ」の精神を忘れず、正々堂々とプレーできるチーム作りをして参りたいと思いますのでよろしくお願ひ申し上げます。

最後になりましたが、各種大会においてご協力されている協会役員、審判の皆様方などに深く感謝するとともに、さいたま市ソフトボール協会の今後益々のご発展とソフトボールに携わる皆様方のご健康をご祈念申し上げ、チーム紹介とさせていただきます。

**25年度審判員伝達講習会開催**

**“審判離れを懸念”**

3月9日審判員伝達講習会が、午前中「与野本町コミセン」で座学(ルール・競技者必携)107名、午後は「荒川総合・野球場A面」で実技52名の参加者で開催された。

和田会長は「昨今の高齢化で私達の周りに審判離れ等の影響が出て、県ソ協では登録審判員が昨年より150人減少し3,400人になったとのこと。市ソ協でも同様にソフト離れが目立ちます。半日単位での審判活動も可とし審判員の確保に全力をあげて取り組みます。今年度もソフトボールの振興と市ソ協の発展のため共に頑張りましょう」と挨拶で述べられた。

山内審判委員長は「昨年は市ソ協で運営した試合数は912試合、審判員動員総数1,983名、審判員登録人数346名でした。今年度の登録人数は314名に減少、早期に第3種審判員講習会を県ソ協と共に開催したい。何時でも、何処でも同じコールとジェスチャーで、起きそうなトラブルを未然に防ぐ気配り、目配りで活動を」と挨拶された。

岡田副審判委員長が現況とルールの改正点を説明した。



【岡田副委員長】

【現況】①若年層のソフト離れによる高齢化が顕著。昨季は15名の審判員が試合中に倒れるアクシデントがあった。(高年齢、過動員、熱中症)②高齢化と後継者無しの状態が続くと5年後には公認審判員がなくなる。③審判員登録は340名だが、常に活動してくれる人は70名位、従って年間約2,000人を動員するには一人当たり平均28日の出勤になる。④そこで1日でも半日でも審判協力ができる人は、地区長に申し込みをお願いしたい。ユニホームにこだわらず、ワッペンだけを付けて頂ければ良い。⑤是非、上級試験(認定会)にチャレンジしてほしい。その一助としてスキルアップ講習会を行っている。(平成25年度は6回開催)

【ルール改正】①再出場違反のペナルティ：打撃完了後のアピールの場合、プレイの結果は「有効」であったのが「無効」に改正。②「攻撃側のメンバーは故意に打者席のラインを消してはならない」が追加になった。

【実技】①審判員の基本動作として、「コールとジェスチャーは同時に」を山内・岡田正副委員長の指導で繰り返し研修した。

その後、4人制審判員の場合の外野飛球に対するローテーションの再確認とストライクゾーンの再確認の2班に分れて研修を行った。3か月ぶりのグラウンドに目と体が徐々に慣れ、52名の審判員は生き生きと躍動していた。



**日本ソフトボール協会功労者**

榎本 靖二 (副理事長) [24年度分]  
 (市ソ協設立当時より、運営・広報・記録  
 総務・財務等を担当し現在にいたる)

**埼玉県ソフトボール協会功労賞**

(中央支部推薦)  
 藤原 誠 (副理事長・実年委員長)  
 岡田 貢 (審判副委員長)  
 田口 正光 (審判副委員長)  
 松本文夫 (競技・広報副委員長)

**25年度さいたま市体育賞**

(優秀選手賞)  
 シルバーウイング(関東エリート大会優勝)  
 (個人表彰)  
 千葉典夫 (小学生委員長)

**さいたま市体育賞  
 優秀選手賞をいただいて**

シルバーウイング一同

さいたま市体育協会36団体のうち、私  
 達のシルバーウイング選手一同が、関東エ  
 ルティスト大会で優勝したことにより、平成  
 25年度の優秀選手賞をいただきました。

**成25年度さいたま市体育賞表彰式**



さいたま市の合併を機に、さいたま市ソ  
 フトボール協会に登録しているレディース  
 のチームから50歳以上の選手に声をかけ、  
 「シルバーウイング」を立ち上げ、日本ソ  
 フトボール協会に登録しました。

そして昨年に引き続き、25年度も埼玉  
 県の代表切符を手に入れ、関東大会に挑み  
 優勝することが出来ました。

ソフトボールを通じて、勝つ喜び・チー  
 ムの和・練習後の楽しい語りなど、普通  
 では味わえないものを感じています。

まだまだ若い人達には負けません。この  
 賞を励みに生涯スポーツとしてこれからも  
 がんばってゆきたいと思っています。

**審判員・記録員認定会合格者**

- 【第2種公認審判員】 (3名)  
 田中 昌幸・小崎 健次郎  
 森 栄次
- 【第3種公認審判員】 (1名)  
 田村 美穂子
- 【第3種公式記録員】 (3名)  
 唐沢 亮・栗原 かおり  
 田村 美穂子

**平成26・27年度役員名簿  
 市ソ協・中央支部(抜粋)**

役職名	氏名	(支部役職名)
顧問	田中 一弘	(顧問)
	生方 博志	( " )
参与	鈴木 彰	(参与)
"	鈴木 征	( " )
"	渡辺 充	( " )
会長	和田 隆雄	(会長)
副会長	和 中 勉	(副会長)
"	永 田 喜雄	( " )
"	浅 見 茂	( " )
"	白 島 一 芳	( "・支部長)
理事長	浅 見 茂	
副理事長	榎本 靖二	(副支部長)
"	河村 展良	( " )
"	石 渡 勲	( "・財務部長)
"	山 内 涉	( " )
"	小笠原 新政	( " )
"	赤 川 清 一	( " )
"	眞 嶋 久美子	( " )
総務委員長	永 井 三	
" 副委員長	藤 川 和 仁	(総務部長)
財務委員長	芝 崎 博 司	(総務副部長)
記録委員長	榎本 靖二	(記録部長)
" 代行	本 間 幸 次	(記録副部長)
広報委員長	田 口 秀 夫	(広報部長)
放送委員長	山 崎 善 樹	(放送部長)
審判委員長	山 内 涉	(審判部長)
" 代行	岡 田 貢	(指導者部長)
競技委員長	小笠原 新政	(競技企画部長)
技術委員長	会 見 卓 也	(技術副部長)
" 副委員長	荒 川 健二郎	(技術部長)
男子委員長	赤 川 清 一	(男子部長)
壮年委員長	植 原 則 武	(男子副部長)
実年委員長	藤 原 誠	(男子副部長)
シニア委員長	霜 鳥 夏 海	(シニア部長)
女子委員長	醍 醐 真 弓	(女子副部長)
" 副委員長	井 上 嘉 美	(女子部長)
高校生委員長	新 井 忠 忠	
中学生委員長	浜 出 均	
小学生委員長	千 葉 典 夫	(小学生部長)
事務局長	眞 嶋 久美子	(事務局長)
監 事	藤 黒 覚	(監 事)
"	藤 原 安 久	( " )

(敬称略) 5月6日現在

**25年度記録員伝達講習会開催**

3月9日、公式記録員の伝達講習会を岩槻  
 駅東口コミセンで開催。(17名参加・県東  
 支部より3名)。本間・杉木両講師により、  
 ルール改正の解説、スコアカード記入の実  
 技研修、DVDを見て打球の判定確認をして  
 安打・失策の判定等を勉強した。

5月25日に荒川総合F面で実技研修を実施  
 するので是非受講してください。



**日本ソフトボール協会  
 功労賞を受賞して**

副理事長 榎本 靖二

今年の埼玉県ソフトボール協会評議員会  
 で、市ソ協より推薦されましたので、上記  
 の功労賞を受賞させていただきました。  
 ありがとうございます。

ソフトボールとの出会いは、昭和50年頃  
 地域のソフトボールチームを設立し、大宮  
 市の大会に参加した時からです。大宮市ソ  
 フトボール協会、役員は審判員出身が大  
 部分でしたが、チーム代表からも選出しよ  
 うとなり、平成10年に理事となり、主に田  
 口広報委員長と広報誌作成に携わるよう  
 になりました。行政の合併により、さいたま  
 市ソフトボール協会を設立することになり、  
 当初から参加し大変な作業をしたことが思  
 い出されます。

平成15年度より副理事長に就任し(旧浦  
 和連盟・2名、旧大宮協会・2名)、現在ま  
 で協会の仕組み作りのお手伝いをさせてい  
 いただきました。常任理事会の議題・評議員  
 会資料・表彰状・広報誌の作成、県協会の  
 記録・広報も担当、平成17年には念願のホ  
 ムページを開設し、現在支部と合わせ通算  
 65万回以上アクセスがあり、開催日の雨天  
 判定・予定・結果の掲載など市ソ協として  
 HPはなくてはならない重要な存在となりま  
 した。大分高齢になりましたので、10周年  
 記念誌・広報誌作成など皆さんが眠ってい  
 る時間に毎晩深夜になるまで作業をすると  
 翌日影響が出るようになり、仕事もポカが  
 増えてきたようです。大きなミスをしな  
 いうちに今度こそ後進に道を譲りたいと考  
 えています。

**編集後記**

◎ 平成15年4月創刊以来11年、本日広報誌  
 23号を発行できました。幾多の挫折、ミス  
 プリントにも特別なお叱りもなく、次の発  
 行を待っていてくれる会員の皆さん。百芸  
 に秀でたマルチなスタッフ。協力を申し出  
 てくれる会員。特に大宮協会時代から16年  
 位広報活動に助力戴いた榎本副理事長。

いろいろな方に支えられありがたいこと  
 です。10周年を節目に26・27年度を迎えま  
 す。「継続は力なり」と言います。同じス  
 タッフ・スタイルでそのTPOに対処します。  
 よろしく協力いただきます。

(広報委員長・田口秀夫)

**さいたま市ソフトボール協会  
 事務局**

さいたま市見沼区小深作485-1  
 眞嶋久美子 方 (〒337-0005)

**【広報誌編集委員会】**

- 永田 喜雄・田口 秀夫・榎本 靖二
- 山内 涉・斉藤 豊・本間 幸次
- 友光 節夫・神長伊佐男・眞嶋久美子
- 北林 孝和・大塚 妙子・匠 博隆
- 信田 正行・石原 則易 以上14名